

## 第3回福山市地域公共交通会議 会議録（要旨）

### 1 日 時

2015年（平成27年）8月19日（水）13:30～14:30

### 2 場 所

福山市役所 6階 60会議室

### 3 出席者

#### (1) 委員（16名）

井上矩之委員，藤井基博委員，藤本和士委員，和田秀俊委員，藤井智恵子委員，神原昌弘委員，渡辺徹委員，山田進一委員，平賀哲二委員（代理 櫻井康彬），堀江豊委員（代理 岸部明和），木村洋委員（代理 東山聖恵），友道康仁委員（代理 中本俊幸），田坂健治委員，佐藤彰三委員，渡邊清文委員，神田量三委員

#### (2) 事務局（4名）

神園都市交通課長，中津公共交通担当次長，上田主事，川端主事

#### (3) 傍聴者（0）

### 4 会議の成立

委員17名中，代理出席を含め16名出席で，委員の過半数が出席しているため，福山市地域公共交通会議設置要綱第5条第2項の規定により会議が成立

### 5 協議事項

#### (1) 報告事項

##### ①乗合タクシーの利用状況について

### 6 資料

- ・第3回福山市地域公共交通会議 報告事項
- ・乗合タクシー運行路線図（中条学区）2015年1月改定
- ・乗合タクシー運行路線図（竹尋学区）2015年1月改定
- ・中条学区乗合タクシーご利用案内（2015年1月改定）
- ・竹尋学区乗合タクシーご利用案内（2015年1月改定）

### 7 協議内容

#### (1) 報告事項

##### ①乗合タクシーの利用状況について

事務局：資料により説明。

委員長：アンケート調査の対象者は利用者の方のみですか，それとも学区全体ですか。

事務局：利用者と利用が見込まれる方を対象としています。

委員：1日当たりの便数が増えて利用者数が増えても，運行すれば運行するほど赤字になるということですか。1便当たりの人数が上がれば収益は改善されると思いますが，1日当たりが増えてもなかなか収益率は上がっていないので，そのようなことを踏まえて，今後の運行の指標のようなものは考えてらっしゃるのでしょ

うか。

事務局：過去に2回運行内容を変更していますが、その際には地元と協力してアンケートや聞き取りを実施し、試行錯誤をしながら運行内容を検討してきました。現在は収益率30%以上を確保していますが、以前のバス路線のときの補助金額に比べて現在は経費がかからないという面もあり、効率的な運行ができていますので、1便当たりの利用者数が増えていくよう、今後も継続してニーズを把握し、運行内容を検討していこうと考えております。また、基本的に1台に1人しか乗られない場合は赤字です。2人以上乗っていただければ、収益が上がり、収益率も改善されていくと思いますので、そういったことを検討していければと考えております。

委員長：季節的なことも、利用者の増減に影響しているかもしれませんね。

事務局：はい。そういったこと以外にも、料金設定が異なっているということも挙げられます。中条学区では一律500円ですが、竹尋学区では400円または350円となっております。料金設定も収益率に影響していると思います。

委員長：運行ルートはどのようなところを走っていますか。

事務局：中条学区は坂を上ったところの集落のようなところまでルートを設定しています。竹尋学区は商業施設と反対側のほうは坪生のあたりまでルートを設定しています。

委員長：利用者の方はほとんどが地域の方のみなのですが、地域外の方も利用されるようになれば、収益率の改善につながっていきますね。

事務局：乗合タクシーはもともと路線バスの維持が難しい地区に導入しておりますので、観光資源などができれば変わってくると思います。

委員長：ほかにいかがでしょうか。他にないようですので、以上で、本日予定しております福山市地域公共交通会議の協議は終了いたします。